



植樹をする児童の様子

## 林間学校で植樹体験

2月20日(金)、幡東森林組合主催の「第37回林間学校」が入野松原で開催され、南郷小学校3年生、上川口小学校5・6年生、入野小学校5年生の児童や関係者ら約100人が参加しました。

今回植樹されたのは、同組合が購入した100本と県および森と緑の会が「緑の募金」を活用して提供した400本計500本のクロマツの苗木。児童らはスコップで穴を掘り、苗木を植えた後、培養土と土をかぶせる作業を行いました。

入野小の阿部寅次郎さんと深瀬奏詩さんは、「穴の掘り具合やひもの結び方が難しかった。しっかり木が育つよう愛情を込めて植えた。植えたクロマツが元気に大きく育って、みんなの役に立ってほしい。津波や風から守ってくれる木になってほしい」と話しました。



目録贈呈の様子

## 黒潮町チャリティゴルフコンペ

2月21日(土)、土佐ユートピアカントリークラブが開場50周年を迎えたことに伴い、チャリティゴルフコンペが開催されました。

同コンペでは、「黒潮町から夢に向かって」というコンセプトをもとに、大方高校女子サッカー部と学生寮へクラブの備品購入として資金を寄附しました。

実行委員会会長の柏原宏さんは、「黒潮町に何かお礼ができないかということで、プロとアマチュアと一緒に考えて企画を行った。ボールなど、クラブでの備品購入などに活用していただければ。来年度もコンペを企画している」と話しました。



CoderDojoの子どもたち

## 第7回Minecraftカップで小学生チームが全国入賞

2月24日(火)、「第7回Minecraftカップ」で2部門入賞を果たした「CoderDojo黒潮町」※の小学生チームが、受賞報告のため町を訪れました。黒潮町内の津波避難タワーなどをゲーム「マインクラフト」で再現した作品が高く評価されました。子どもたちは「新人賞と優秀賞が取れてうれしい。次は最優秀賞をめざしたい」と笑顔で喜びを話してくれました。

同道場を主催する美土路光さんは「マインクラフトで町を表現する過程で、子どもたちが町内のさまざまな人とのつながりを築けたことが何より良かった。マインクラフトの世界の中で、子どもも大人も一緒に避難訓練ができれば」と、デジタルと防災を結びつけた取り組みへの期待を話してくれました。

※世界各地で行われているボランティアの子ども向けプログラミング道場のこと



多くの人で賑わうマーケット

## 16年間続いた「海辺の日曜日」最終回

3月8日(日)、16年間続いた幡多・マーケット「海辺の日曜日」が最後のマーケットを開催しました。同マーケットは、毎月第2日曜日に開かれ、地元の野菜や食べ物、手作り雑貨などの店が並び、出店者と交流を楽しめるイベントとして親しまれてきました。

当日は町内外から約50の出店者が集まり、開催時間中には「ビブリアトル」も行われ多くの人で賑わいました。

16年間運営してきた福岡和加さんは、「人とのつながりがあったからこそ、ここまで続けられた。「海辺の日曜日」は終わりますが、ここに来てくれた人たちが新たなカタチでつないでくれたら」と思いを語りました。「海辺の日曜日」は終了しましたが、また新たなカタチでスタートする予定です。